

## 入札公告

(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建設工事を除く))  
次のとおり一般競争入札に付する。

なお、本業務に係る落札及び契約締結は、当該業務に係る平成26年度予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものである。

今回の業務に参加可能な実績を有し、業務拠点の参加条件を満たす者は、180者以上が見込まれる。

平成25年12月26日

分任支出負担行為担当官

沖縄総合事務局 南部国道事務所長 金城 博

### 1. 業務概要

(1) 業務名 平成26年度南部国道改築関係資料整理(その1)業務  
(電子入札対象案件)

(2) 業務目的 本業務は、南部国道事務所における道路(改築)に関する調査設計業務に関する積算(特記仕様書、発注図面・数量総括表の作成、積算資料の作成、積算システムへの積算データ入力までの一連の業務)及び調査設計業務に関する技術審査(発注資料の作成から技術資料の分析・整理までの一連の業務)等の支援を行うことにより、業務発注担当部署の業務発注の円滑化を図ることを目的とする業務である。

(3) 業務の内容

本業務は、以下に掲げる内容を行うものである。

なお、本業務は履行期間内において、1業務毎(以下「個別業務」という)の指示により協議・打合せの上実施するものであり、指示は発注者から受注者に対して履行期限を付して行われるものである。また、発注者受注者間の指示及び承諾行為は受注者の管理技術者に対して行うため、実施する担当技術者は管理技術者の管理下において作業を行うものである。

1) 積算業務

- ・特記仕様書、発注図面及び数量総括表(数量計算書)の作成
- ・積算資料の作成
- ・積算システムへのデータ入力(データリストの作成)
- ・変更設計にかかわる上記の業務

2) 技術審査業務

- ・発注方式の選定資料作成
- ・標準手続きフロー(案)及び業務概要の作成

- ・評価項目及び評価基準（案）の作成
- ・業務発注資料の作成
- ・技術資料の分析・整理
- ・入札・契約手続き員会及び業務審査会の資料作成

3) 契約関係書類作成等

4) 予定業務件数は積算 29 件、技術審査 24 件を予定している。

(4) 技術提案に関する要件

業務を実施するにあたっては以下の視点から競争参加資格確認申請書等を提出する者は（以下「競争参加資格確認申請者」という。）創意工夫を発揮し、質の向上に努めるための、各提案を行うものとする。

1) 業務の実施方針に関する提案

競争参加資格確認申請者は、業務実施の具体的な方法、業務の質の確保の方法等について、業務全般に係る質の向上の観点から取り組むべき事項等の提案を行うこととする。

2) 評価テーマに対する技術提案

競争参加資格確認申請者は、下記評価テーマについて、留意点を踏まえた技術提案を行うこととする。

評価テーマ：複数の担当技術者で業務を実施する場合に統一的な判断、対応を行う履行体制を確保するための取り組み（指示・報告の方法等）について

(5) 成果品について

本業務により提出される成果品は以下のものであるが、その内容において、誤字・脱字、計算間違い、適用基準の間違い、入力間違い等に十分留意すること。

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1) 積算業務にて作成した資料         | 1 式 |
| 2) 積算データ（記録媒体 CD等）      | 1 式 |
| 3) 技術審査業務にて作成・整理した資料    | 1 式 |
| 4) 契約関係書類作成等にて作成・整理した資料 | 1 式 |
| 5) その他調査職員が指示した資料       | 1 式 |
| 6) 打合せ記録簿               | 1 式 |

(6) 履行期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

(7) 本業務は、入札前に業務計画等に関する競争参加資格確認申請書等を受け付け、価格以外の要素と入札価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の業務である。また、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 85 条の基準に基づく価格を設定する総合評価落札方式においては、予定価格 1,000 万円を超える業務の場合には、技術提案の確実な履行の確保を厳格に評価するため、技術提案の評価項目に新たに「履行確実性」を加えて技術評価を行う。

(8) 本業務は資料提出、入札を電子入札システムで行う対象業務である。なお、例外的に

電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得た場合に限り、紙入札方式に代えるものとする。

## 2. 入札参加資格

競争参加資格者は、2-1. に掲げる資格を満たしている単体企業。

### 2-1. 単体企業

(1) 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

(2) 沖縄総合事務局における平成25・26年度の一般競争（指名競争）参加資格に関して、希望業種を土木関係建設コンサルタント業務として認定を受けている又は申請中であること。

なお、開札の時点において、上記の一般競争（指名競争）参加資格の土木関係建設コンサルタント業務の認定を受けていなければならない。

(3) 競争参加資格確認申請書等の提出期限の日から開札の時までの期間に、沖縄総合事務局長から建設コンサルタント業務等に関し、指名停止の措置を受けている期間中でないこと。

(4) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

2-2. 2-1 (2) 掲げる平成25・26年度の一般競争（指名競争）参加資格の申請を行っていない者も競争参加資格確認申請書等を提出することができるが、競争参加資格確認申請書等提出期限までに平成25・26年度の一般競争（指名競争）参加資格に関して、希望業種を土木関係建設コンサルタント業務として申請を行うこと。

### 2-3. 入札参加者間の公平性

入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。  
なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡をとることは、競争契約入札心得第4条の3第2項の規定（入札参加者は、入札に当たっては、他の入札参加者と入札意思、入札価格（入札保証金の金額を含む。）又は入札書、工事費内訳書その他契約担当官等に提出する書類の作成についていかなる相談も行っはならず、独自に入札価格を定めなければならない）に抵触するものではないことに留意すること。

#### (1) 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

1) 親会社と子会社の関係にある場合

2) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

#### (2) 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし1)については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

- 1) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
  - 2) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
- (3) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
- その他上記(1)又は(2)と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

## 2-4. 競争参加資格確認申請者に関する要件

### (1) 中立公平性に関する要件

- ・本業務の履行期間中に工期がある当該業務発注者の発注業務(ただし、発注者支援業務及び公物管理補助業務、行政事務補助業務は含まない。)に参加している者及びその発注業務(ただし、発注者支援業務及び公物管理補助業務、行政事務補助業務は含まない。)に参加している者と資本面・人事面で関係がある者は、本業務の入札に参加できない。
- ・発注業務に参加とは、当該業務を受注していること、当該業務の下請けをしていることをいう。ただし、本業務の契約日までに下請け契約が終了している場合は、本業務の入札に参加できるものとする。
- ・資本面・人事面で関係があるとは、次の1)又は2)に該当するものをいう。
  - 1) 一方の会社が他方の会社の発行済株式総数の100分の50を超える株式を有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている場合。
  - 2) 一方の会社の代表権を有する役員が他方の会社の代表権を有する役員を兼ねている場合。

### (2) 誓約書の提出

上記(1)における中立公平性に関する資料(様式-11)を提出すること。

### (3) 業務実施体制に関する要件

- ・競争参加資格確認申請者は、沖縄総合事務局管内に業務拠点(配置予定管理技術者が恒常的に常駐し業務を行うところ)を有するものであること。
- ・業務の主たる部分を再委託するものでないこと。
- ・業務の分担構成が不明確又は不自然でないこと。
- ・設計共同体の場合に、業務の分担構成が必要以上に細分化されていないこと。

### (4) 業務実績に関する要件

- ・競争参加資格確認申請者は、平成16年度以降に完了した以下に示す業務(平成25年度完了予定も対象に含む)において、1件以上の実績を有すること。ただし、地方整備局等委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点(未完了の業務成績は含まない)未満の場合は実績として認めない。

業務：国、特殊法人等、地方公共団体、地方公社、公益法人、又は大規模な土木

工事を行う公益民間企業が発注した発注者支援業務、公物管理補助業務、CM業務、PFI事業技術アドバイザー業務、土木設計業務、調査検討・計画策定業務、管理施設調査・運用・点検業務、測量業務、地質調査業務。

2-5. 配置予定管理技術者に対する要件は、以下のとおりとする。

(1) 配置予定管理技術者の資格等

以下のいずれかの資格等を有するもの

- ・技術士（総合技術監理部門－建設又は建設部門）
- ・一級土木施工管理技士
- ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者
- ・(社)全日本建設技術協会による公共工物品質確保技術者(I)又は公共工物品質確保技術者(II)又は発注者が認めた同等の資格を有する者（※1）
- ・RC CM又はRC CMと同等の能力を有する者（※2）（技術士部門と同様の部門に限る）

※1 「発注者が認めた同等の資格を有する者」とは以下のとおり

- ・中部地方における「施工体制の確保に関する推進協議会」が認定した発注者支援技術者（土木）I種またはII種

※2 「RC CM又はRC CMと同等の能力を有する者」とは、RC CM試験に合格しているが転職等により登録ができない立場にいる者

(2) 配置予定管理技術者に必要とされる同種又は類似業務等の実績

配置予定管理技術者は、平成16年度以降に完了した以下に示す同種又は類似業務（平成25年度完了予定も対象に含む）において、1件以上の実績を有すること。

ただし、地方整備局等委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の場合は実績として認めない。

業務実績には、平成16年度以降に元請として同種又は類似業務に従事した経験のほか、出向又は派遣、再委託を受けて行った業務実績も同種又は類似業務として認める（ただし、照査技術者として従事した業務は除く）。また、発注者として従事した同種又は類似業務の経験も実績として認める。

1) 同種業務：国、都道府県、政令市、特殊法人等が発注した土木工事に関する発注者支援業務及び行政事務補助業務（資料整理業務）

2) 類似業務：

- ・地方公共団体（都道府県及び政令市を除く）、地方公社、公益法人又は大規模な土木工事を行う公益民間企業が発注した土木工事に関する発注者支援業務及び行政事務補助業務（資料整理業務）
- ・国、都道府県、政令市、特殊法人等、地方公共団体、地方公社、公益法人又は大規模な土木工事を行う公益民間企業が発注した公物管理補

助業務、CM業務、PFI事業技術アドバイザー業務、行政事務補助業務（計画及び協議資料作成業務）、土木設計における概略・予備・詳細設計業務、土木工事における監理技術者の業務

### （３）直接的雇用関係

配置予定管理技術者は、本業務の履行期間中（契約日から業務完了まで）に、本業務の代表者と直接的雇用関係がなければならない。

### （４）手持ち業務量

- ・配置予定管理技術者は、平成26年4月1日現在の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のもの及び落札決定通知を受けているが未契約のものを含む。また、履行期限が平成25年3月31日以前となっているものは含まない。さらに、複数年契約の業務の場合は、当該年の年割額とする。以下、同じ。）が4億円未満かつ10件未満であること。ただし、手持ち業務とは管理技術者又は担当技術者として従事している契約金額が500万円以上の業務をいう。

平成26年4月1日現在での手持ち業務のうち、国土交通省及び沖縄総合事務局開発建設部の所管に係る建設コンサルタント業務等（港湾空港関係及び営繕関係にかかるものを除く。）において調査基準価格を下回る金額で落札した業務がある場合には、手持ち業務量の契約金額を4億円未満から2億円未満に、件数を10件未満から5件未満にするものとする。

- ・本業務の履行期間中は管理技術者の手持ち業務量が契約金額4億円未満、件数で10件未満（平成26年4月1日現在での手持ち業務に、国土交通省及び沖縄総合事務局開発建設部の所管に係る建設コンサルタント業務等（港湾空港関係及び営繕関係にかかるものを除く。）で調査基準価格を下回る金額で落札したものがある場合には契約金額で2億円未満、件数で5件未満）を超えないこととし、超えた場合には、遅滞なくその旨を報告しなければならない。その上で、業務の履行を継続することが著しく不適當であると認められる場合には、当該管理技術者を、以下の1）から4）までの全ての要件を満たす技術者に交代させる等の措置請求を行う場合があるほか、業務の履行を継続する場合であっても、本業務の業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- 1) 当該管理技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- 2) 当該管理技術者と同等の技術者資格を有する者
- 3) 当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者
- 4) 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は特記仕様書において設定している配置予定管理技術者の手持ち業務量の制限を超えない者

2-6. 配置予定担当技術者に対する要件は、以下のとおりとする。

#### （１）配置予定担当技術者の資格

以下のいずれかの資格等を有するもの

- ・技術士（総合技術監理部門－建設又は建設部門）、技術士補（建設部門）

- ・一級土木施工管理技士又は二級土木施工管理技士
- ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者、土木学会 1 級土木技術者又は土木学会 2 級土木技術者
- ・(社)全日本建設技術協会による公共工物品質確保技術者(Ⅰ)又は公共工物品質確保技術者(Ⅱ)又は発注者が認めた同等の資格を有する者(※1)
- ・RCCM又はRCCMと同等の能力を有する者(※2)(技術士部門と同様の部門に限る)
- ・「予定管理技術者に必要とされる同種又は類似業務等の実績」と同様の実務経験が1年以上の者
- ・河川又は道路関係の技術的行政経験(※)を10年以上有する者

※「技術的行政経験」とは、国、都道府県、政令市、特殊法人等(注1)で職員として従事したことをいう。

※1「発注者が認めた同等の資格を有する者」とは以下のとおり

- ・配置予定管理技術者において認めた資格を有する者
- ・中部地方における「施工体制の確保に関する推進協議会」が認定した発注者支援技術者(土木)Ⅰ種またはⅡ種

※2「RCCM又はRCCMと同等の能力を有する者」とは、RCCM試験に合格しているが転職等により登録ができない立場にいる者

#### 2-7. 競争参加資格確認申請書等に関する要件

競争参加資格確認申請書等において、内容が殆ど記載されていない、又は提案内容等が判断できない場合は競争参加資格がないものとする。

### 3. 総合評価落札方式に関する事項

#### (1) 落札者を決定するための基準

落札者の決定は、総合評価落札方式により行うものとする。

入札参加者は、価格及び競争参加資格確認申請書等をもって入札をし、次の各要件に該当する者のうち、下記(2)総合評価の評価方法によって得られた数値(以下「評価値」という。)の最も高い者を落札者とする。

- 1) 入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であること。なお、予定価格は、設計図書に基づき算出するものとする。ただし、国の支払いの原因となる契約のうち予定価格が1,000万円を超える請負契約について落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- 2) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条に基づく調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の調査及び業務完了後に業務コスト調査を行うものとする。
- 3) 上記において、評価値が最も高い者が2名以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決める。

## (2) 総合評価の評価方法

### 1) 評価値の算出方法

評価値の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{評価値} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

### 2) 価格評価点の算出方法

価格評価点の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{価格評価点} = (\text{価格評価点の満点}) \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

価格評価点の満点は30点とする。

### 3) 技術評価点の算出方法

競争参加資格確認申請書等の内容に応じ、下記①、②、③、④の評価項目毎に評価を行い、技術評価点を与える。

なお、技術評価点の満点は60点とする。

① 予定技術者の経験及び能力

② 実施方針

③ 技術提案

④ 技術提案等の履行確実性

技術評価点の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{技術評価点} = (\text{技術評価点の満点}) \times (\text{技術評価の得点合計} / \text{技術評価の配点合計})$$

$$\text{技術評価の得点合計} = (\text{①に係る評価点}) + (\text{技術提案評価点}) \times (\text{④の評価に基づく履行確実性度})$$

$$\text{技術提案評価点} = (\text{②に係る評価点}) + (\text{③に係る評価点})$$

## 4. 入札手続等

### (1) 担当部局

〒901-0001 沖縄県那覇市港町2-4-18

沖縄総合事務局 南部国道事務所 経理課 契約係

電話 098-861-2336

FAX 098-868-1429

### (2) 入札説明書の交付期間、場所及び方法

入札説明書は、電子入札システムから入手するものとする。(ただし、紙入札方式の参加承諾を得た者には上記4.(1)にて交付する。)



交付期間：平成25年12月26日（木）から平成26年2月18日（火）までのうち、閉庁日を除く毎日の「9時00分から17時00分まで」とする。

(3) 競争参加資格確認申請書等の提出期間、場所及び方法

平成25年12月27日（金）から平成26年1月20日（月）17時00分までに電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得て持参あるいは郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る）する場合は、平成26年1月20日（月）17時00分までに上記（1）に必着とする。

(4) 競争参加資格確認申請書等に関する書類審査の実施

書類審査では競争参加資格確認申請書等に記載された内容の確認を行う。

(5) 競争参加資格確認の通知日

競争参加資格の有無の通知は平成26年1月28日（火）を予定する。

(6) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札は電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は紙により持参すること。

- ・電子入札システムによる入札の締め切りは、平成26年2月18日（火）17時00分

- ・紙により持参の場合は、平成26年2月18日（火）17時00分

- ・開札は、平成26年2月19日（水）11時30分

〒901-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14

沖縄総合事務局 南部国道事務所 入札室 にて行う。

## 5. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除

② 契約保証金 免除

(3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、競争参加資格確認申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4) 契約書作成の要否 要

なお、本業務において提出された技術提案について、提案内容として採用したものについては契約書特約事項として添付する。

(5) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4.(1)に同じ。

(6) 当該業務を受注した者は、当該業務発注者の発注業務に参加することができない。

当該業務の受注者は、以下のとおり業務の履行期間中は業務発注者の発注する業務（ただし、発注者支援業務及び公物管理補助業務、行政事務補助業務は含まない。）の

入札に参加することができない。

・本業務を受注した者及び本業務を受注した者と資本面・人事面で関係がある者は業務履行期間中に工期のある当該業務発注者の発注業務（ただし、発注者支援業務及び公物管理補助業務、行政事務補助業務は含まない。）に参加してはならない。また、本業務の担当技術者の出向・派遣元及び出向・派遣元と資本面・人事面で関係のある者は、業務履行期間中に工期のある当該業務発注者の発注業務（ただし、発注者支援業務及び公物管理補助業務、行政事務補助業務は含まない。）に参加してはならない。なお、「業務に参加」とは、当該業務の入札に参加すること、当該業務の下請けとしての参加をいう。

・資本面・人事面で関係があるとは、次の1)又は2)に該当するものをいう。

1) 一方の会社が他方の会社の発行済株式総数の100分の50を超える株式を保有し、又はその出資額の総額の100分の50を超える出資をしている場合。

2) 一方の会社の代表権を有する役員が他方の会社の代表権を有する役員を兼ねている場合。

(7) 本業務にかかる落札及び契約締結は、平成26年4月1日とするが、当該業務にかかる平成26年度予算成立が4月2日以降となった場合は、予算成立日とする。また、暫定予算となった場合、予算措置が全額計上されているときは全額の計上とするが、全額計上されていないときは全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする。

なお、本件入札にかかる開札は、落札決定を保留した上で行うものであり、落札の決定及び契約の締結は平成26年4月1日とする。ただし、当該業務にかかる平成26年度予算成立が4月2日以降となった場合は、予算成立日とする。

(8) 履行現実性を評価するために、技術提案に関するヒアリングとは別に、履行現実性に関するヒアリングを実施するとともに、技術提案書とは別に追加資料の提出を求める場合がある。

(9) 詳細は入札説明書による。

(1) Official in charge of disbursement of the procuring entity :

Hiroshi Kinjou Director of South National Highways Office, Government of Japan.

(2) Subject matter of the contract : ordering support

(3) Time-limit to express interests by electric bidding system : 17:00, 20, January, 2014: (by bringing : 17:00, 20, January, 2014).

(4) Time-limit for the submission of tenders by electric bidding system:17:00, 18, February, 2014: (by bringing : 17:00, 18, February, 2014)

(5) Bid Opening : 11:30, 19, February, 2014

(6) Contact point for tender documentation : „Accounting and Contract Division, South National Highways Office, Government of Japan, 2-8-14 Minato-machi Naha City, Okinawa 900-0001

Tel:098-861-2336, Fax:098-868-1429